

# 目次

「文化の下剋上」としての茶室 — 序に代えて —

藤森照信

3

## 如庵

戦国きつてのインドア派による

融通無碍な茶室

18

## 時雨亭・傘亭

「秀吉のお茶」が垣間見える茶室

30

## 擁翠亭

茶道界のトップデザイナー

小堀遠州がプロデュースした、

「クライアントファースト」な茶室

42

## 天然図画亭

グルメな粹人・北村幽庵と、

インテリ茶匠・藤村庸軒の

クラブで生まれた茶室

50

## 捻駕籠席

シビねりが効いた草庵茶室

62

## 清香軒

露地には川が流れる、

煎茶が香るオレ流茶室

74

## 飛濤亭

光格帝は、お高いのが好き

86



虎丘庵 破格の僧・一休さんの終の庵 98

庭玉軒 〳姫宗和〳の遊び心 110

松花堂 寛永文化のスターの「くうねるあそぶ」 122

高林庵 床の間を「背景」にした、  
片桐石州の建築センス溢れる茶の湯空間 134

双塔庵 聖地に輝く○□ 146

山里茶席 偉大なるシロウト・半泥子の無茶苦茶 158

聴竹居 茶室(下閑室)  
近代日本人の、日本人による、  
日本人のためのモダニズム茶室 170

菅田菴 サ道の達人・不昧の隠れ家 182

看庵 いい湯だな♪ ここは茶座敷、庄司の湯 194

五庵・高過庵・低過庵・空飛ぶ泥舟  
やっぱり茶室は自由だッ！ 202

おわりに はな 217

●本書は月刊『なごみ』連載「ニッポン茶室ジャーニー」  
(2022年5月〜2023年12月号)を元に、加筆修正の  
うえまとめたものです。

●記事は取材当時の情報を元としています。現在と状  
況が異なる場合があることをご了承ください。

